

やに入りはんだ (作業性重視)

ヌレと切れを両立させ、抜群の作業性を実現

SR-55 LFM-48

JIS A級の信頼性を確保し、低温域からの初期ヌレ性が良好。作業スピードが格段に向上します。ニッケルや酸化した銅など、ヌレの悪い部品にも広がりがよく、切れ性のよさも両立。コテ先離れを改善し、作業性がアップしました。

[適用例] ● Sn-Ag-Cu系 ● Sn-Cu系 / 電子機器全般、スルーホール基板、ロボットはんだ付けなど。



初期ヌレ・広がり性比較

JIS A級やに入りはんだに適合し、低温域の初期ヌレ性が良好。安定したはんだ付けを約束します。

■低温 (270℃)

他社製品					ヌレ開始時間: 2.50秒後 ヌレ時間: 1.53秒
	0秒	3秒後	3.4秒後	5秒後	
SR-55 LFM-48					ヌレ開始時間: 2.06秒後 ヌレ時間: 1.33秒

■初期ヌレ性 (270℃)

	他社製品	SR-55 LFM-48
ヌレ開始時間	2.50秒後	2.06秒後
ヌレ時間	1.53秒	1.33秒

■広がり性 (270℃)

	他社製品	SR-55 LFM-48
酸化銅板	81.1%	83.8%
ニッケル板	73.1%	73.8%

■高温 (350℃)

他社製品					ヌレ開始時間: 1.30秒後 ヌレ時間: 0.69秒
	0秒	1.67秒後	2.33秒後	3.00秒後	
SR-55 LFM-48					ヌレ開始時間: 1.17秒後 ヌレ時間: 0.63秒

■初期ヌレ性 (350℃)

	他社製品	SR-55 LFM-48
ヌレ開始時間	1.30秒後	1.17秒後
ヌレ時間	0.69秒	0.63秒

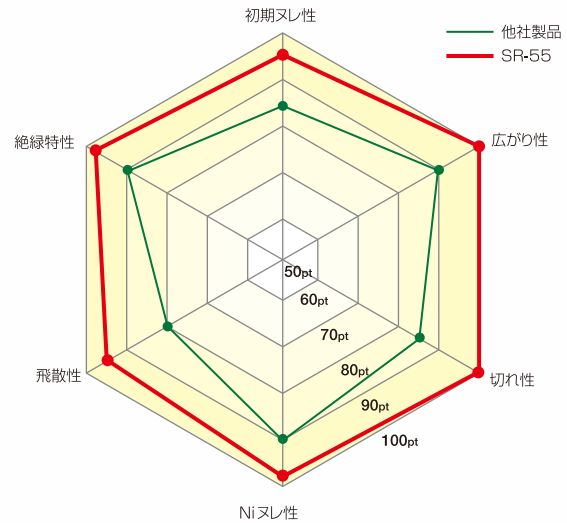
■広がり性 (350℃)

	他社製品	SR-55 LFM-48
酸化銅板	84.1%	85.5%
ニッケル板	76.3%	78.8%

SR-55 LFM-48の優位性を比較・検討。 改善された成分と特性により、コスト削減を実現します。

■SR-55における他社製品との性能比較

	他社製品	SR-55
はんだ広がり法 [%]	81.1	83.8
銅板腐食試験	合格	合格
水溶液抵抗試験 [Ω m]	430	1,350
乾燥度試験	合格	合格
絶縁抵抗試験 [Ω] 85[C]×85[%RH]×1,000[H]	1×10^9 以上	1×10^9 以上
電圧印加耐湿性試験 85[C]×85[%RH]×1,000[H]	1×10^9 以上	1×10^9 以上
飛散試験 [個]	320[°C]	59
	350[°C]	24
	380[°C]	5



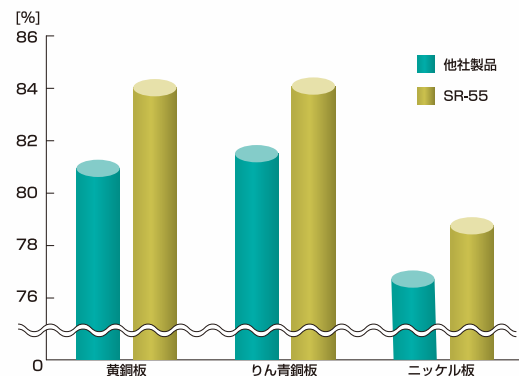
■各種又しの悪い金属への広がり性

フラックス	他社製品	SR-55
黄銅板 [%]	80.9	84.0
りん青銅板 [%]	81.5	84.1
ニッケル板 [%]	76.6	78.9

【目的】濡れにくい合金への又し性評価

【評価内容】

- ①評価金属板:黄銅板、りん青銅板、ニッケル板は酸処理を行った(酸化処理はなし)。
- ②評価フラックス:SR-55
- ③評価方法:やに入りはんだ渦巻き試料によるはんだ広がり法 n=5 (320°C×20秒)



■自動はんだ付けロボット(コネクター部品 20p)による作業性比較

品名	はんだ量	Total	はんだ付け時間
現行品	1g	17.3円	48.0秒
SR-55	0.9g	14.5円	39.6秒

現行品の月産33,000台に対し、SR-55を使用することで生産台数は40,000台になります。生産効率が33%向上し、コテ先の消耗も少ないため交換時間を短縮。相乗効果によって、生産効率は1.5倍に向上します。

お客様の声 <部品メーカー>

コテ先の温度管理が楽になりました。

コテ先温度を従来より低くしてもはんだ付け性がよく、部品や基板に与える熱影響を少なくすることでコテ先温度の管理がとて楽になりました。はんだ付け後の仕上がりがよいため、課題だった品質向上と作業性の効率化を実現することができました。

や入りはんだ品名構成

(例) SR-55 LFM-48 3.5% 1.0φ

フラックス名+合金名+フラックス含有量+線径

や入りはんだ製品仕様

フラックス名	合金名(合金組成)	フラックス含有量	溶融温度	線径(mm)
SR-55	LFM-48 (Sn-3.0Ag-0.5Cu)	3.5%	217-220°C	0.5, 0.65, 0.8, 1.0, 1.2, 1.6
	LFM-22 (Sn-0.7Cu)		227°C	

※ LFM-48はUS PAT No.5527628のライセンスを取得しています。
※ 製品によって線径の在庫がない場合がありますので、営業担当までご相談ください。

Technology for the future

almit
日本アルミット株式会社

本社: 〒164-8666 東京都中野区弥生町2-14-2 アルミットビル TEL.03-3379-2277 FAX.03-3374-2593
大阪支店: 〒542-0081 大阪市中央区南船場3-6-28 第2声池ビル TEL.06-6252-5039 FAX.06-6252-5026
九州営業所: 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-11 KDX博多南ビル TEL.092-483-0367 FAX.092-483-0324
上海アルミット有限公司: 上海市嘉定区安亭镇国际汽车城高科技产业园区嘉宝路西端1号厂房201805 TEL.+86-21-3950-9808 FAX.+86-21-3950-9886
ALMIT (THAILAND) CO., LTD. (SALES OFFICE): 1702-1, 17TH FLOOR EXCHANGE TOWER 388 SUKHUMVIT ROAD KLONGTOEY, BANGKOK 10110 THAILAND TEL.+66-2-663-7080~1 FAX.+66-2-663-7082
中部アルミット工業: 〒460-0013 名古屋市中区上津1-4-10 ジブラルタ生命ビル TEL.052-323-3971 FAX.052-323-3991